

たす役割は、きわめて大きいと思われるが、本県へき地校の実施状況は、第26表のとおりである。

第26表 へき地校における完全給食実施状況 (昭40.3月現在)

	へき地校総数	給食実施校数	実施率 (学校別)	へき地校 児童生徒総数	給食実施 児童生徒数	実施率 (人員別)
小学校	205	30	14.6%	15,444	5,209	33.7%
中学校	51	5	9.8%	7,126	1,042	14.6%
計	256	35	13.7%	22,570	6,251	27.7%

完全給食を実施している学校は、小学校14.6%、中学校9.8%にすぎない。完全給食促進のための強力な施策が必要である。

(7) 卒業後の状況

へき地の中学校卒業後の状況を、昭和38年3月卒業者についてみると第27表のとおりである。

第27表 中学校卒業者の卒業後の状況 (昭和38年 へき地学校調査より)

	就 職 者					計	進学者	その他	計
	通 勤		離 村		計				
	県 内	県 外	県 内	県 外					
卒業 者 数	194	-	280	643	1,117	953	354	2,424	
比 率	8.0%	-	11.6%	26.5%	46.1%	39.3%	14.6%	100.0%	

これによると、就職が46.1%、進学者が39.3%となっている。就職者の中、県外へ就職した者は、就職者の半数以上を占めている。

高等学校進学者39.3%は、この年における本県高等学校進学率57.6%に比較すると、かなり低率である。

へき地における高等学校進学率を向上させる対策が必要である。

(8) 施 設 設 備

第28表は、へき地学校における施設設備の一部の状況である。

第28表 へき地集会室等のある学校数 (昭和38年へき地学校調査による)

	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学 校 数	比 率	学 校 数	比 率	学 校 数	比 率
へき地集会室のある学校	28	13.5%	14	29.8%	42	16.5%
寄宿舎のある学校	4	1.9%	7	14.9%	11	4.3%
テレビのある学校	132	63.5%	32	68.1%	164	64.3%

(注) 比率は、へき地学校に占める各らの学校数の割合を%で表したものである。

これをみてもわかるように、へき地は生徒数が少なく、本校、分校、季節分校と細分されるため、1校当りの予算が少額となり、施設設備はふじゅうぶんであるので、充実させる必要がある。